

ラグビーワールドカップ2019組織委員会の解散について

1 公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会概要

- ・平成22年11月、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（以下「JRFU」という。）により設立
- ・ラグビーワールドカップ2019の準備・運営を行う専門機関
- ・会長：御手洗 富士夫

2 解散時期等

- ・令和2年3月31日に組織委員会を解散し、清算法人に移行
- ・解散後、清算法人は、残存する財産・法律関係（債権・債務）を整理するための清算手続きを進める。
- ・組織委員会の大会運営ノウハウに関する資料文書の保存・継承などは、JRFUが行う。

3 清算法人における清算人

組織委員会理事会において、嶋津 昭 組織委員会事務総長を評議員会に推薦することを決議

4 ラグビーワールドカップ大会収支状況（令和2年3月度）

収入・支出 677億円

（主な収入）

- ・チケット収入（389億円）
- ・JSC助成金（59億円）
- ・協賛くじ収益金（100億円）
- ・開催都市分担金（39億円）

（主な支出）

- ・会場整備等（173億円）
- ・大会運営等（139億円）
- ・管理等（199億円）
- ・大会保証料（130億円）

5 レガシー事業

大会のレガシー事業としてJRFUが行う、総額60億円規模の基金事業

(1) ラグビーワールドカップ記念秩父宮ラグビー場基金（20億円規模）

秩父宮ラグビー場移転整備の際、場内に大会を記念するミュージアム機能を付加する等のための資金

(2) ラグビーを通じた地域活性化活動のための基金（20億円規模）

地方自治体等が実施する地域におけるラグビーの普及振興事業を助成・実施

(3) 日本ラグビーの更なる飛躍発展のための基金（20億円規模）

次の日本大会の開催を視野において、JRFUが行う日本ラグビーの飛躍発展、アジア諸国のラグビー振興などを実施

公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会は、関係法令及び定款の定めに基づき、2020年3月末をもって解散することとなったので、以下のとおり報告する。

1 解散の経緯

- ・公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と組織委員会の間で締結した**開催業務契約の終期(2020年3月末)到来をもって大会の準備及び運営に関する大会終了後の残務を結了**することとし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び定款に基づき、**組織委員会を解散**するもの。

【組織委員会定款第41条】

当法人は、(略) **2019年ラグビーワールドカップ国際大会終了後の残務の結了**により解散する。

2 清算法人における清算人の選任

- ・本日の理事会において**嶋津昭事務総長を清算人として評議員会に推薦**することが決議された。

3 今後のスケジュール

- ・3月18日 評議員会の決議により清算人を選任
- ・3月31日 法人解散→清算法人へ移行
- ・4月以降 債権者に対する公告期間(2か月間)経過後、残余財産の確定・引渡しを実施し、評議員会において清算事務の終了に伴う決算報告の承認を得て、清算結了の登記を行う

解散後、清算法人において残存する財産・法律関係（債権・債務）を整理するための清算手続きを進め、JRFUにおいて経済効果報告等のHUAに基づく業務を実施する。

< 承継方針 >

【① 清算手続きに必要な業務】

(例示) 評議員会の運営、法務局への登記、内閣府への届出
債権者に対する公告、残余財産の確定・引渡し、
清算事務の終了に伴う決算報告 など



清算法人
で対応

【② HUAに基づく業務等】

(例示) HUAに基づく業務
(経済効果報告書、レガシーレポートの作成など)
大会の運営ノウハウに関する資料文書の保存・承継 など



JRFU
で対応

大会収支状況について



■ 20年3月度の数字は2019年12月末決算を反映し、20年1月～3月の概算額を計上

単位：億円

収入	20年3月	19年8月	支出	20年3月	19年8月
1. チケット収入	389	350	1. 会場整備等	173	182
2. JSC助成金	59	79	試合会場等	120	125
3. 協賛くじ収益金	100	100	ICT及びネットワーク	45	48
4. 開催都市分担金	39	39	公認チームキャンプ地	8	9
5. 民間資金等	59	57	2. 大会運営等	139	151
6. 保険金収入	18	0	トーナメントサービス	105	110
7. その他収入	13	5	警備	27	30
			ラグビーサービス	7	11
			3. チケット販売、広報	36	34
			4. 管理等	199	128
			職員、ボランティア等	48	54
			組織委員会運営及び保険	59	
			HUA関連経費等	68	
			1. ラグビーワールドカップ 記念秩父宮ラグビー場基金		
			2. ラグビーを通じた地域活性化活動のための基金		
			3. 日本ラグビーの更なる飛躍発展のための基金		74
			チケット払戻額	23	0
			5. 大会保証料	130	134
			6. 予備費	0	1
合計	677	630	合計	677	630

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない。
 ※チケット収入には中止試合等払戻、見切席販売等を含む。

- 組織委員会は、JRFUが行うラグビーワールドカップ2019大会のレガシー事業として、次のような総額60億円規模の基金造成のための予算化を行う。
- JRFUには、この基金を基に、「ジャパンラグビー中長期戦略計画(2020.2.19 JRFU理事会で承認済)」に沿ってレガシー事業を実施するよう要請する。
- 事業実施に当たっては、JRFU RWC2019レガシー実行特別委員会がJRFU理事会の承認の下に行う。

【1 ラグビーワールドカップ記念秩父宮ラグビー場基金】（20億円規模）

- 秩父宮ラグビー場移転整備の際、同ラグビー場内に2019大会を記念するミュージアム機能を付加する等のための資金とする。
- 事業実施に当たっては、JSCと連携して進める。

【2 ラグビーを通じた地域活性化活動のための基金】（20億円規模）

- 地方自治体等が実施する地域におけるラグビーの普及振興事業を助成又は実施する。

【3 日本ラグビーの更なる飛躍発展のための基金】（20億円規模）

- 次のラグビーワールドカップ日本大会の開催を視野において、JRFUが行う日本ラグビーの飛躍発展、アジア諸国のラグビー振興などを実施する。

注) 本案の発効は、JRFUの理事会決議等必要な手続を経ていることが条件となり、当該手続で付された条件に従い実施される。